

町民の窓

Ujitawara Public Relations

ホームページアドレス <https://www.town.ujitawara.kyoto.jp>

●人のうごき(9月1日現在)
8,445人(-26)
男4,318人(-26) 女4,127人(0)
出生1人 死亡10人 転入30人 転出47人
3,911世帯(-1)()内は前月比

地域を結ぶお祭り
思い出の通学路
寝転んで見上げた星空
自然を観察する日 時間を忘れられる景色
このまちで暮らせる喜び
受け継ぐ責任 家族を育んだ時間
大好きなふるさと 地元の人たちの優しい笑顔
毎朝目の前に広がる茶畑 不便と便利が揃っている
宇治田原らしい穏やかな時間 人と人とのつながり 顔の見える安心な暮らし

緑に溶け込むキジ
満開の桜と月明かり
緑豊かなハートのまち
次の世代にも続くまち
子どもと見つけたイシガメ
何をするにも通った思い出の道
ふるさとにしたいまち
ふるさと高尾

いつまでも続く人の思い 思いやり 共に生きる人たち まちの優しさを未来へ やすらぎの道
懐かしさを運ぶ田原川 差し伸べられた優しい手 子どもたちが希望をもてるまち あたたかい地元の人
ふるさとを思う心 ハート形に広がる芝生 大切に守られてきたもの こちよい居場所
正解がない未来を自ら切り拓きたい 心安らぐふるさとの景色 きれいな水が流れる田原川 正寿院の思い出 語り継ぎたい思い出

自然豊かな楽しいまち 70年後にも残したい
自然の中で遊ぶ子どもたち 大きな家族
たくましく生きる力 人へのぬくもりが残る暮らし
高尾から見渡す景色 守りたい宇治田原の宝物
通り慣れた小学校 四季折々の花が咲くところ
収穫前の玉露の新芽 変わらない茶畑の緑
新茶の香りに包まれる春 流域でつながる
ハートのまち

切磋琢磨できる仲間たち
永谷宗門の挑戦する精神
お茶の香りがするまち
お茶が美味しい
私が私で居られる場所
田原川に映る夕焼け
みんなが熱くなれるまち
優しい図書館の人 心をつなぐあいさつ
家族が集まれる場所

懐かしい風景
子育てを支える人
親戚のような助け合い
親子を迎えてくれたまち
茶畑に広がる朝の光
山道で出会う季節の香り
やりたいことを応援してくれる環境
地域で育む子どもの未来
夕暮れに染まる里山
新茶を囲む団らん

桜満開のやすらぎの道
まちを彩る美しい自然 小学校
豊かな里山
誇りに思う宇治田原

独占せず分かち合う知恵 懐かしい桜並木 地域に残る茶文化
子どもたちの健やかな成長 見守りながら育てる地域とのつながり
読み聞かせの時間 手もみ茶が伝える文化
ころ柿 光害の少ない夜空
宇治田原へ帰るきっかけ
子どもが継がれる茶文化

特集

ひと想いまち未来 今を生きる私たち

受け継がれてきた宇治田原

昭 和31年に宇治田原町が誕生してから70年。

その間、このまちではたくさんの人が暮らし、働き、地域を支えながら、今日までの宇治田原をつないできました。

山あい広がる茶畑。季節ごとに表情を変える豊かな自然。地域で受け継がれてきた祭りや伝統行事。道ですれ違えば交わされるあいさつや、困ったときには自然と手を差し伸べる人と人とのつながり。

私たちが「当たり前」と感じているものの多くは、長い年月の中で、誰かが守り、育て、次世代へと手渡してきたものです。

『当たり前』が続くとは限らない

けれど今、「当たり前」と思っていた日常が、これからも当たり前前にあり続けるとは限らない現実に向直しています。宇治田原町では、人口減少と高齢化が進み、身近な暮らしの中にも少しずつ変化の兆しが表れています。人口が減るということは、単に数字が小さくなることでは



まちに広がる茶畑

ありません。長年育まれてきた地域の営みや、人と人との温かな結びつきそのものが確かに揺らぎ始めているのです。

宇治田原町が消えてしまいかも

令和6年、人口戦略会議が公表した分析で、本町は「消滅可能性自治体」に分類されました。これは、2050年までに若年女性人口が2020年と比べて50%以上減少すると推計された自治体を指します。

「消滅」という言葉は、どこか遠い未来の話に聞こえるかもしれませんが、

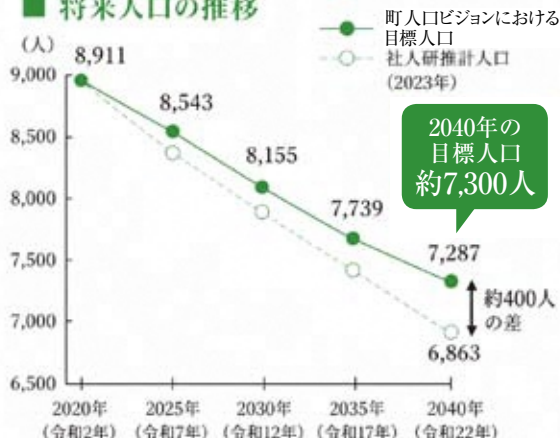
数字でみる宇治田原

宇治田原の これからの人口

宇治田原町の人口は、今後も減少し、2040年には6,900人程度まで減少すると国の機関が推計しています。

町では400人程度の人口減少抑制を行い、7,300人程度の目標人口の実現を目指しています。

■ 将来人口の推移



消滅可能性自治体

人口戦略会議は令和6年、宇治田原町を「消滅可能性自治体」に分類しました。人口移動が続くと仮定した場合、2020年から2050年までに、20～39歳の女性人口が57.5%減少すると推計されたためです。ただし、これは「町が必ずなくなる」という宣告ではなく、若い世代の流出や出生数の減少が続けば、地域の担い手不足や生活サービスの維持が難しくなる可能性を示す警鐘です。働く場や子育て環境を整え、町の魅力を高めるとともに、「住み続けたい」「戻りたい」「移り住みたい」と思えるまちを、住民・地域・行政が共につくることが求められます。今ある大切な暮らしやつながりを守るため、一人ひとりがまちの未来を共に考える時です。



しかし直面している課題は私たちの日常そのものです。伝統の担い手や地域の支え合い、響き渡る子どもの声。これまで身近にあったものが、気づかないうちに失われていくかもしれません。

70年間受け継がれてきたものが、70年後もそのまま残っている保証はありません。だからこそ、町制施行70周年という節目の今、私たちは宇治田原の「これまで」を大切に振り返りながら、「これから」の未来をどう創るのか、共に歩みを進める時を迎えています。

未来へ動き始めている人たち

まちの中を見渡せば、この現状の前に、すでに動き始めている人たちがいます。

担い手が減る中でも、形を変えながら伝統行事を守ろうとする人――

薄れつつある地域のつながりを、再び結び直そうとする人――

子どもや若い世代に、地域と関わるきっかけをつくる人――

移住者と地域をつなぎ、新しい交流を生み出そうとする人――

そして、「このまちを少しでも良くしたい」と、自分にできることを続けている人――

その活動は、決して大きなものばかりではありません。けれど、一人ひとりの小さな行動が人をつなぎ、地域を動かし、やがてまちの未来を動かす大きな可能性を秘めています。

今とその先を創るのは一人ひとり

今と明日の宇治田原町を担う

のは、行政や一部の特別な人だけではありません。

このまちで暮らす人。働く人。地域を守る人。新しいことに挑戦する人。そして、このまちのことを少しでも大切に思う一人ひとりです。

まちが直面する課題を自分事として捉え、まず一歩踏み出してみる。その意識と熱量が行動を生み、一人ひとりの行動が重なれば、まちの未来はより前向きに変わっていくでしょう。

今回の特集では「好きだから」という思いから、最初の一歩を踏み出し、それぞれの立場で地域を支えるために活動する7人を訪ねました。

なぜ続けるのか。何を残したいのか。そして、次の世代へ何をつないでいきたいのか。

7人の言葉の中には、このまちがこれからも宇治田原であり続けるための、小さなヒントがあります。

次の10年、20年、その先へつなぐために

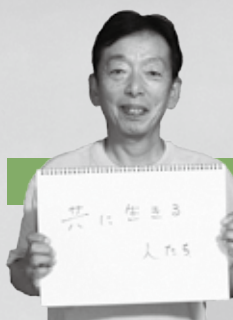
まちの未来は、誰か一人が創るものではありません。

このまちで暮らす一人ひとりが自分の大切なものに心を寄せ、その思いを次の世代へとつないでいく。その積み重ねが、このまちの形を創っていくのではないのでしょうか。

この特集をきっかけに、自分の暮らすまちや、身近な地域のことに目を向け、「自分にも何かできるかもしれない」と思う人が増えることを願っています。

そして、誰もが主役として活躍できるまちを、一緒に創っていきませんか。

一人ひとりの「好き」が まちの未来を創る



荒木 区長
たわ としお
田和 利夫さん

長年の自治運営経験を活かし区長会長も務める。学生や女性が地域の運営に関わる仕組みを取り入れるなど、新たな地域づくりに挑戦し続けている。

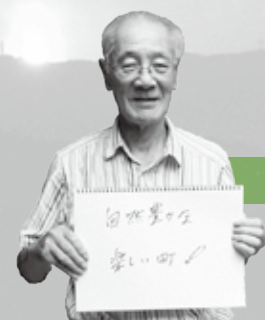
「未来への投資」が地域をつなぐ

今、荒木区の運営には、女性や高校生にも加わってもらっています。長年、区の運営に携わるなかで、昔と今では社会情勢が変化していて、このまま同じやり方を続けてよいのかと感じていました。そこで、これからを担う若い世代や女性など、さまざまな人に関わってもらうことで、新たな視点や発想を取り入れ、地域を創る力にしたいと考え、今の運営体制をつくり始めました。

もちろん、反対意見もありました。でも、今すぐ結果を求めるのではなく、学生のうちから地域の大人と関わった経験が、地域への愛着や郷土愛につながり、いつか何らかの形で宇治田原を支えてくれたらいい。これは「未来への投資」だと思っています。

私自身、現役時代は仕事が中心で、地域との関わりはそれほどありませんでした。でも、今振り返れば、自分では気づかないところで地域の人たちに守られ、支えてもらいながら暮らしてきたのだと思います。だからこそ、今度は自分が地域のためにできることをしたい。地域のことを「自分事」として捉え、「自分なら何ができるか」「今、何をしておくべきか」を考えるようにしています。

地域の子どもは地域で育てる。そして、地域に育ててもらった子どもたちが、いつか地域を支える側になって帰ってくる。そんな循環が生まれれば、宇治田原町はこれからもうまくやっていけると思うんです。自分たちが支えてもらってきたように、次の世代を支え、その先の未来へつながれば嬉しいです。



やんたん灯籠張り当屋(中谷)
たにむら みのる
谷村 稔さん

湯屋谷地区に伝わる「やんたん灯籠張り」の当屋を務め、伝統行事の継承に取り組む。永谷宗円生家の管理にも携わり、歴史や文化を守りながら地区の活性化に尽力している。



奥山田 区長
かみつじ はるお
上辻 晴雄さん

奥山田区に伝わる「練り込み囃子」の運営と継承に携わる。幼い頃から行事に参加し、一度は途絶えたが、復活後も次世代へ受け継ぐため活動を続けている。

引き継ぐ責任、守り続ける想い

子どもの頃から、灯籠張りや地蔵盆に関わってきました。昔は当屋にみんなが集まり、食事をしてから灯籠を張るのが当たり前前の光景でした。しかし、時代とともに人が減り、「こんな古いことはもうやめたら」という声も聞かれるようになりました。それでも続けてきたのは、湯屋谷の大切な行事をなくしたくない、宇治田原をもっと良くしたいという思いがあったからです。

やんたん灯籠張りは、多くの人の協力によって守り継がれてきました。受け継いだ私たちには、次の世代へつなぐ責任があると思っています。ただ、昔の形をそのまま残すことだけが、伝統を守ることではありません。今では「子ども灯籠」や「やんたん灯りまつり」を開き、子どもたちや地域の人が楽しみながら伝統に触れる場をつくっています。

時代に合わせて形を変えることも、行事を絶やさず、続けるために必要です。これからも若い人たちに楽しみながら関わってもらい、湯屋谷の伝統を未来へつないでいってほしいです。

伝統とともに、帰るきっかけを残したい

練り込み囃子は、五穀豊穡などを願い、古くから奥山田で受け継がれてきた伝統行事です。一度は途絶えましたが、地域の方々の「復活させたい」という熱意でよみがえり、私も青年団の一員として準備などに関わってきました。今も担い手不足などの課題はありますが、地域の人みんなで力を合わせながら続けています。時代に合わせて工夫し、若い世代にもつないでいくことが大切だと感じています。

私が残したいのは、伝統だけではなく、お盆になると、町を離れた人たちが家族を連れて帰ってきて、久しぶりに顔を合わせる。練り込み囃子が「故郷へ帰ろう」と思えるきっかけとなり、みんなが集まり、思い出をつくれる場所であってほしいと思っています。

故郷にこんな伝統があることを子どもたちにも誇りに思ってもらい、町を離れても練り込み囃子の日には「奥山田へ帰ろう」と思ってもらえる。人と人をつなぐこの行事と、帰ってこられる場所を、次の世代にも残していきたいです。

未来へつなぐ、7つの想い

まちづくりには、このまちに暮らす一人ひとりが、大切にしたいものを考え、その思いを胸に1歩踏み出してみることが大きな力になります。

今回は町でさまざまな活動に取り組む7人に、活動を始めたきっかけや、続ける中で感じてきたこと、宇治田原への思いを聞きました。

取材の最後には、スケッチブックに「70年後にも残したい宇治田原の好きなところ」を書いてもらいました。七つの言葉から、それぞれが大切にしているまちの姿を紹介します。

7人の話を聞く中で印象に残ったのは、立派な理想を語る言葉よりも、日々の暮らしの中から生まれた素朴な思いでした。

「無くなった寂しい」「帰ってきた人が気軽に集まれる場所にしたい」「若い人にもこの地域を好きになってほしい」「人口が減っても関わってくれる人が増えたらいい」「次の人にも自分たちと同じように楽しんでほしい」。

そこには、何かを無理に守り続けようとする姿だけではない。



茶ッピー未来基金 代表

つげ かなえ
柗植 奏恵さん

茶ッピー未来基金（学生が中心となり、地域のひと協力しながら子ども向けのイベントを企画・運営）の代表を務める高校2年生。子どもたちの成長と交流を支えている。

楽しむことが、次につながる

小学4年生から茶ッピー未来基金のスタッフとして参加し、今は高校生で代表を務めています。最初は「楽しそう」という気持ちで始め、今では小学生の「やってみたい」という声も聞きながら、みんなでイベントを企画しています。山で竹を切るところから始めた流しうめんや、約200人が参加してくれたスプリングフェスはとても印象に残っています。

スタッフや参加する子どもが減り、準備する側がしんどくなったり、規模が小さくなったりしたけど、今は、まず自分たちが楽しんで企画することを大切に活動しています。先輩たちが楽しそうに活動する姿を見てきたからこそ、私たちも自分の力で楽しむことを大事にしていきたいと思っています。

町外の学校に通っていますが、ここに帰れば、年齢や学年を越えて気軽に声を掛け合える仲間がいます。そんな世代を越えたつながりが、これからも続いてほしい。茶ッピー未来基金は私にとって大きな家族のような、いつでも帰ってこられる場所です。



町移住サポーター

さいとう じん
齋藤 仁さん

町移住サポーターで、お試し住宅の利用者第1号。7年前に町へ移住し、クレソンを栽培する傍ら、自身の経験を活かして移住者と地域住民をつなぐ活動に取り組んでいる。

「移住先」から「ふるさと」に

7年前、農業ができる場所を探す中で宇治田原と出会い、お試し住宅の第1号として移住しました。知り合いのいない土地でしたが、不安よりも「ここや」という直感の方が大きかったですね。移住後はクレソンを栽培し、地域の人たちとのつながりを築いてきました。

今は町移住サポーターとして、来る人と地域をつないでいます。自分も移住者だからこそ伝えられることがある。地域に溶け込むための「ちょっとした歯車」になればいいと思っています。宇治田原の魅力は、地元のひとと移住者が自然に交じり合えること。困ったときには話を聞いてくれる温かさがあります。移住した頃は自分の暮らしかや仕事のことで精いっぱいでしたが、人と出会う中で「自分何ができるんやろう」「もっとこのまちを素敵にしたい」と思うようになりました。

これからもつながりを広げ、住む人だけでなく、このまちに関わる人が増えてほしい。6年という時間を重ね、今では宇治田原を自分のふるさとだと思っています。



21お茶のふるさと塾 塾長

まつもと まさよ
松本 雅代さん

お茶をテーマにしたイベントの企画をはじめ、食品の加工・販売なども手がけ、創意工夫を活かした活動を通じて地域の活性化に取り組んでいる。

私らしく、前を向ける場所

ふるさと塾に関わって約30年。お茶摘み体験や茶香服などを通して、町のお茶や魅力を伝える活動を続けてきました。

ここには、仕事も世代も異なる人が集まります。自分には見えていないものが、誰かには見えている。互いの得意なことや考えを持ち寄り、「こんなことをしてみたい」という思いが形になるところが、この活動の面白さです。

どんな意見やアイデアも気兼ねなく話せ、みんなが受け止めてくれる。ふるさと塾は「私が私でいられる」場所です。何かを始めるときも、「無理」で終わらせず、「じゃあ何ができる?」「どうしたらできる?」と考える。前向きな仲間がいるからこそ、さまざまなことに挑戦してられました。これから、悪いところばかりに目を向けるのではなく、まちの良いところをみんなで伸ばしていきたい。地元の人も外から来た人も温かく受け入れ、「あの人に会いたい」「また話したい」と思ってもらえる、人の温かさが残るまちであってほしいです。



高尾カフェ運営

うえむら ひでこ
植村 秀子さん

住民や親戚が気軽につどい、交流できる「高尾カフェ」を企画・運営。薄れつつある人と人とのつながりを取り戻すため、地域にきわいを生み出すアイデアを形にしている。

いつでも帰れる、ふるさと高尾へ

高尾では昔、住民が一堂に集まる機会が多く、近所というより親戚のような付き合いがありました。しかし、人が減り、町外へ出る人も増え、つながりが薄れてきたように感じます。私が高尾へ来たとき、皆さんが温かく迎えてくれたことがうれしく、受け継がれてきたこのつながりを残したいと思っていました。

その思いから始めたのが「高尾カフェ」です。高尾に住む人だけでなく、ここで生まれ育ち、町外で暮らす人も帰り、お茶を飲みながら話せる場をつくりました。共に過ごすうち、挨拶だけだった人同士が親しくなり、つながりも生まれています。今後は世代や暮らす場所を越えて交流できるよう、さまざまな取り組みを考えています。

地元を離れていても、つながりを持続けることはできます。時々帰って、みんなと楽しい時間を過ごしてほしい。高尾にゆかりのある人たちが「高尾は自分のふるさとや」と感じ、いつでも帰ってこられる。そんな場所を、これからもみんなでつくりたいです。

く、今の暮らしに合う形へ変えながら残そうとする柔らかなさがありました。守るための変化を受け入れる。地域を離れた人にも声をかける。地域全体の意見を取り入れる。できない理由を探すのではなく、「それなら何ができるだろう」と考えてみる。そんな小さな選択の積み重ねが、それぞれの活動を支えています。

また、7人の話から見えてきたのは、まちの魅力は、場所や名産だけではないということでした。

移住してきた人が「人が好き」と話し、町外に出た人を「いつでも帰っておいで」と迎え、誰かの思いに別の誰かが応え、その輪が少しずつ広がっていく。そうした人と人との距離の近さこそ、このまちが長く育んできたもののなかでもありません。

もちろん、続けることは簡単ではありません。人が減り、以前と同じやり方では難しいことも増えていきます。それでも、過去をそのまま再現しようとしているのではなく、自分たちの今に合う方法を探しながら前へ進んでいました。

未来とは、まだ見えない遠い時代のことでなく、今日の選択の先に少しずつ形づくられていくものです。

この7人の言葉に触れながら、自分が好きなまちの姿や、これから大切にしたいものを思い浮かべてみてください。

その中に、これからのまちを考えるヒントがきっとあります。

|特集| ひと想いまち未来 今を生きる私たち

あなたが残したい宇治田原の「好き」は何ですか

70年後も残したいまちの魅力を募集したところ、緑豊かな茶畑や満天の星空、田原川のせせらぎ、思い出の道や場所、受け継がれてきた行事、そして人と人との温かなつながりなど、たくさんの「好き」が寄せられました。そんな皆さんから届いた「好き」をご紹介します。まちの魅力を改めて見つめ、未来へ残す一歩となりますように。そして70年後も、誰かが同じ風景を見つめ、「宇治田原が好き」と笑っていられますように。



①綺麗な星空②大きな神輿を担ぎあげる三社祭③温かみの残る茅葺きの家④前撮りをした思い出の正寿院⑤収穫前の玉露の新芽⑥家族のために作ったカボチャ⑦家族が集まる機会をくれる西ノ山展望広場⑧思い出が詰まったやすらぎの道⑨毎朝、目の前に広がる茶畑⑩星空が広がる中央公園⑪今年のやんたん灯籠張り

町が歩んだ70年は、多くの方がその宝物を守り、次の誰かへと手渡してきた時間でもあります。これから先も「宇治田原が好き」と言えるまちであるために、私たちは何を守り、どのような未来を創っていくのでしょうか。70年後へ手渡したい、あなたにとっての「宇治田原の宝物」は何ですか。

取材を通して見えてきたのは、今、私たちのそばにある風景や営みは、決して当たり前に残ってきたものではないということです。茶畑や豊かな自然、地域に受け継がれる行事、困ったときに支え合う人と人とのつながり。そのつひとつは、まちを思う誰かが手をかけ、声を上げ、時には悩みながらも守り続けてきたからこそここにあります。

そして今も、変わりゆく時代の中で、このまちを思い、自ら一歩を踏み出している人たちがいます。受け継がれてきたものを守る人、新しいつながりを生み出す人、子どもたちがふるさとと思える場所をつくる人。その歩みは小さく見えても、静かに、やがてまちの未来を創る確かな力になります。誰かにとって残したい風景、守りたい伝統、忘れたくない思い出。大切にしたい人とのつながり。そのすべてが、このまちにしかない、かけがえのない宝物です。

70年の宝物を未来の一歩へ
あなたは何を残しますか

山手線開通式(役場〜南) (R5.6.18)



鷲峰山トンネル開通 (R7.2.24)



宇治田原児童育成施設竣工式 (R7.3.29)



中央公園開園セレモニー (R5.11.26)



宇治田原町誕生から70年 この先もこのまちと共に未来へ

昭和31年9月30日、田原村と宇治田原村が合併し、宇治田原町が誕生しました。社会の変化により、このまちの顔も変わってきています。これからも変化を楽しみながら、持続可能なまちづくりを目指していきます。

宇治田原町制施行70周年記念式典

9月30日に開催されました町制施行70周年記念式典で、町の発展にご尽力いただいた次の方々に表彰状並びに感謝状を贈呈しました。

(順不同・敬称略)

歴代副町長・教育長

▽前副町長 山下康之

▽前教育長 奥村博巳

▽永年勤続行政委員会等

▽選挙管理委員会委員 清水善宣

▽監査委員 本多八朗

▽固定資産評価審査委員会委員 大北康人

▽農業委員会委員 浅田豊春・永井保・奥田茂・堀口正美

▽人権擁護委員 高田美智子

▽民生委員・児童委員 奥村太門・前川幸子

▽各種団体等功労者

▽区・自治会 植村良信・田中勉・徳田嘉弘・奥村善裕・田村義彦・後藤明子・久保貴広・石田昌也・光島正豪・奥田豊徳・山田哲夫・大嶋良孝・木下玉輝・中田恵一・利田雅孝・大北和彦・松本昇・中野広明・河崎雅代・角朝光・藤田宗和・木元保男・下司薫・松本和三郎・西山隆一・大嶋裕和・浅田平昭・安井弥一・藤田徹・播磨余士行・利田雅男・上辻茂

▽京都やましろ農業協同組合 上田徳藏・大川吉平

▽森林組合 上田徳藏

▽商工会 横田憲孝・清水甚

▽消防団 森本真生・廣垣稔

▽農林水産業・観光 綴喜郡猟友会宇治田原支部、中辻政隆・モンキードッグコタロー・茶摘みさんリィズジャパン株式会社

▽教育関係 柘植知彦・上野照雄・谷口知美

▽保健・福祉・環境関係 山口勝造・神田省吾・中村祐子

▽ボランティア活動 森田木一・てい♡ぼと・トインカラーズ・クオータームーン

▽地域の活性化 奥山田考房・奥山田ふれあいサロン・光明サロン・老中児童「見守り隊」

▽高齡者 西川初子・下岡貞子・西尾キクエ

▽篤志者 株式会社ケーシー情報システム・株式会社山岡製作所・株式会社大昌・株式会社アストム・内外カーボンインキ株式会社・岸紙工業株式会社・株式会社ONOPlus・株式会社南和商会・株式会社エフケイ・株式会社カネスエ商事・関西故金属株式会社・株式会社エスケーコーポレーション・下司久雄

▽総務課 88・6631

▽総務課 88・6631

▽総務課 88・6631

▽総務課 88・6631

▽総務課 88・6631

▽総務課 88・6631

▽総務課 88・6631

▽総務課 88・6631

京都銀行で **NISA** はじめませんか？
投信自動積立 毎月1,000円から積立できる♪
スマホで申込みOK!
京銀投信積立

京都銀行 宇治田原支店 TEL.0774(88)3737

一緒にうれしい **On Your Side**
京都中央信用金庫
みなさんのすぐとなり
京都中央信用金庫がいます。

宇治田原支店
国道307号線 賢田バス停前
☎ 0774(88)4311
FAX 0774(88)4494

会員募集中 私達と一緒に働きませんか
宇治田原町シルバー人材センター
60歳以上の健康で働く意欲のある方、お気軽にお電話下さい！
☎ (0774) 88-4333
宇治田原町大字賢田小字船戸63番地 高齢者活躍人材確保育成事業
宇治田原町ふれあい福祉センター内 【京都労働局委託事業】

令和8年度9月補正予算

企画財政課 ☎ 88 - 6632

交通空白時間の実証運行やベビーケアルーム設置費用など

1,053万9千円

令和8年度の一般会計補正予算案が町議会9月定例会で原案どおり可決されました。既存の歳入歳出予算総額に1,053万9千円を追加し、総額は65億1,395万8千円となりました。

補正計上した主な事業

●時間的交通空白解消ライドシェア実証事業費 …… 500万円

路線バス平日最終便以降の時間帯において、京都京阪バス定期券所有者を対象とした、近鉄新田辺駅及びJR宇治駅発便の実証運行を行います。



●緑茶条例制定事業費 …… 40万円

緑茶発祥の地において、永谷宗円翁の顕彰や茶文化の伝承に資する条例制定に向けた取り組みを推進します。



●ベビーケアルーム設置事業費 …… 353万円

乳幼児家庭の保護者が安心して外出できる環境づくりを推進するため、総合文化センターにベビーケアルームを設置します。

まちの未来を若者の視点で描く
「第1回 うじたわら未来トーク」を開催

企画財政課 ☎ 88 - 6632



まちの未来について熱心に考える参加者

まちの未来を、これからの時代を担う若者の視点で話し合うプロジェクト「うじたわら未来トーク若者会議」を、8月23日（日）に総合文化センターで開催しました。第1回となる今回は、高校生から20代の若者11名が参加し、自由に意見を交わしました。

今回の会議の特徴は、あらかじめ「正解」や「ゴール」を設定しないことです。本プロジェクトでは「日常の当たり前を疑う」「自分たちにしか見えない」「この町、いいな」を見つけることからスタート。ファシリテーターの松田祥宏氏の進行のもと、参加者は色や五感を通じてまちの解像度を高めるワークショップに挑戦しました。交わ

された意見は、グラフィックレコーダーの大道レイチェル氏によってイラストや文字としてその場ですぐに描き出され、和やかで活気ある対話の場となりました。

勝谷町長は「宇治田原の未来を大人だけで考えてはいけない。皆さんの等身大の気づきや声を本気で受け止めたい」と若者たちへメッセージを送りました。

未来トークは今年度、全4回の開催を予定。次回に向けて、参加者は日常の中で気になる「宇治田原の色集め」を通じて、まちを見る視点を変える課題に取り組みます。



アイデアを可視化し、宇治田原の今後の可能性を広げる

消防団総合訓練・京都府消防操法大会

地域を守るチカラを一つに
磨き上げた技を披露

9月13日（日）、住民グループで消防団総合訓練を行いました。この訓練は、消防団員の結束と士気を高めることや、消防技術の向上、災害発生時に迅速かつ的確に行動できる体制を整えるために行っています。

当日は、各分団による各個訓練や礼式訓練、小隊訓練、操法訓練を行いました。各訓練・礼式訓練では、消防活動の基本となる姿勢や動作、規律を確認。小隊訓練では、指揮者の号令に合わせ、団員が機敏に統一感のある動きを披露しました。また、操法訓練では、火災現場を想定し、消防用

機械器具の取り扱いから放水までの一連の動作を実践。団員たちは、日頃の訓練の成果を発揮しました。

また、8月30日（日）に開催された京都府消防操法大会に、第一分団の選抜選手が出場。選手たちは大会に向け、6月から夜間に練習を重ね、仕事を終えた後も仲間とともに動作や連携を磨いてきました。

本番では、これまで積み重ねてきた成果を発揮し、息の合った操法を披露しました。今回の総合訓練でも、その技を披露し、息の合った動きで会場を沸かせました。



①団旗、部旗が集合し心をついに②一糸乱れない行進を披露
③大会で気迫あふれる操法を披露した選手たち



マチイロなら町民の窓が
いつでもスマホで見られます



2027年春、新館オープン

(予定)

YOUR Life Station



救急告示病院・地域周産期母子医療センター
京都田辺中央病院 ☎ 0774-63-1111

近鉄新田辺駅より徒歩2分・JR京田辺駅より徒歩3分

ビジネスからパーソナルまで

100年の歴史の中で培った経験やノウハウと、最新のデジタル技術と設備を駆使してお客様のニーズにお応えします。

自社設備による一貫生産だから中間マージンゼロ。安くても早い。

SINCE 1911

新しいこと 進んで やる
Shin Shin-DO

有限会社 新進堂印刷所

〒611-0021 宇治市宇治妙楽9 (あがた通り)
TEL. (0774) 22-3024
FAX. (0774) 23-0649


 宝くじの収益金は、私たちの街の公共事業等に役立てられています。
 公益財団法人京都市町村振興協会

子育て通信

図・園地域子育て支援センター ☎88-6622
(はぐくむセンター)

- あそびの広場** 妊婦さんから就学前の子どもと保護者まで。
一緒に遊んで交流しましょう。
- おでかけ広場** 町内各地におでかけします。
四季折々の宇治田原のステキなところを再発見しましょう。
- 各種事業** 「栄養相談」「授乳育児相談」「子育て相談」等も実施しています。

みんなで出かけよう!秋のまちめぐり

～田原祭&散策～

親子で秋のまちを歩いて、地域の魅力を見つけませんか。
いつものまちも、親子で歩いてみると新しい発見があるかも。
地域の方と交流しながら、秋のひとつきを楽しみましょう。

- 田原祭見学 8日(木) 13:00～14:30
ふれあい福祉センター集合
- 湯屋谷散策 19日(月) 10:30～11:30
湯屋谷会館集合
- 奥山田散策 30日(金) 10:30～11:30
奥山田会館集合

※持ち物: 水分補給の飲み物など

事業やイベントによっては、プレイルームをご利用いただけない場合があります。
ご了承ください。



親子で遊ぶ・学ぶ・集う場の「地域子育て支援センター」

お気軽にお越しください。※事業はすべて予約制です。

プレイルーム利用時間▶平日9:00～16:30

子育てに関する相談を受け付けているほか、ファミサポ会員も募集中です。

子育て支援
センター事業
10月

日	月	火	水	木	金	土
日付				1	2	3
事業名	子育てサービス 利用支援窓口 平日8:30～17:15 電話相談可					センター開放 9:00～16:30 はぐくむセンター
時間						
場所						
内容						
4	5	6	7	8	9	10
			子育て家庭応援事業 13:30～15:00 はぐくむセンター 安心感の輪②	おでかけ広場 13:00～14:30 ふれあい福祉センター集合 田原祭見学	あそびの広場 10:30～11:30 はぐくむセンター 作業あそび 栄養相談 ①10:00～11:00 ②13:30～14:30 ③15:00～16:00 はぐくむセンター (保健センター)	
11	12	13	14	15	16	17
	スポーツの日		子育て家庭応援事業 13:30～15:00 はぐくむセンター 安心感の輪③	子育て相談 14:00～16:00 はぐくむセンター 相談	子育て家庭応援事業 10:30～12:00 役場2階会議室202 ママヨガ	
			わらべうたを通して、 親子のスキンシップを楽しみましょう。			心も身体もリフレッシュ しましょう。
18	19	20	21	22	23	24
	おでかけ広場 10:30～11:30 湯屋谷会館集合 散策	あそびの広場 10:45～11:15 はぐくむセンター わらべうた 栄養相談 ①10:00～11:00 ②13:30～14:30 ③15:00～16:00 はぐくむセンター (保健センター)	授乳育児相談 9:30～11:30 はぐくむセンター (保健センター)			
			子育て家庭応援事業 10:30～12:00 はぐくむセンター 安心感の輪④			
25	26	27	28	29	30	31
	ファミサポ学習会 10:30～11:30 はぐくむセンター 子どもの遊び		子育て家庭応援事業 10:30～12:00 はぐくむセンター アロマ講座	アロマサシェ (香り袋) 作りをします。	おでかけ広場 10:30～11:30 奥山田会館集合 散策	あそびの広場 10:00～11:30 住民体育館 ミニ運動会
			町立保育所保育士から教わります。			

Health center

健康のお便り

園子育て支援課 ☎88-6636

大切な子どものお肌を守る、知っておきたいやさしい洗い方と保湿の基本

これからの季節、特に気をつけたいのが、肌の乾燥です。お子さんの肌の特徴を知って、健康な肌につながるスキンケアを始めましょう。



○子どもの肌はとてもデリケート

皮膚には外部の様々な異物が体内に侵入することや、体内の水分の蒸発を防いだりするバリア機能があります。子どもの皮膚は大人の半分ほどの厚さで水分や皮脂がとて少ないため乾燥しやすく、衣服の摩擦や汗などの外部刺激で皮膚トラブルを起こしやすいです。そのような時は、バリア機能が低下するため、湿疹や皮膚炎を起こすことがあります。

○子どもの湿疹は放っておくと...

・かゆみと掻くことの悪循環でさらに悪化・長期化
・睡眠の問題や疲れやすいなどのこころとからだの発達への影響 など

湿疹ができたなら早めに医師に相談して、積極的な治療を開始しましょう。

○トラブルを防ぐスキンケアは清潔と保湿

石けんで洗って清潔にし、保湿剤を塗って乾燥を防ぐことでバリア機能を維持することが大切です。

ステップ1

①よく泡立てた低刺激性の石けんで、②しわを伸ばして、③素手で顔も体もやさしく丁寧に洗い、④石けんやシャンプーが残らないようによくすすぐ、⑤水分を拭くときは押さえ拭きにし、こすらない。
※石けんは防腐剤や着色料、香料などの添加物の少ないものをおすすめ。固形や液状、泡状などどんな形状でも良い。

な形状でも良い。

ステップ2

①入浴後、水分を拭き取ったらすぐに、②適切な量の保湿剤を、③たつぷりと皮膚に乗せるように、④しわを伸ばして塗る。

※保湿剤は、軟膏やクリームチューブの場合、大人の人の差し指の先端から第1関節まで押し出した量、ローションの場合は1円玉大の量で、大人の手のひら2枚分の面積を塗るのが適量。ティッシュペーパーが1枚張り付くくらいの質感が目安。

保湿剤の選び方

季節や時間、用途に合わせて使い分けましょう。

	保護力	使い心地	季節	時間
軟膏	高	ベタベタ	冬	夜
クリーム	中	さらっと	冬	夜
ローション	低	さらっと	夏	朝

口のまわりがかぶれやすいときの対策

口のまわりは指しゃぶりやよだれ、食べものなどで、湿疹ができやすい部位です。よだれは濡らしたタオルで拭き取った後、保湿剤を塗りましょう。あれているときは食事前にワセリンで保護し、食後はきれいにしてから保湿剤を塗っておきましょう。

今月の保健・予防案内

栄養相談 ☎ [対象] 住民

- 9日☎、20☎ ①午前10時～11時
②午後1時30分～2時30分
③午後3時～4時

園・予健康医療課 ☎88-6610

3歳児健康診査 [対象] 3歳5～8か月

16日☎ 午後0時50分～1時30分受付

乳児後期健康相談 [対象] 生後8～10か月

23日☎ 午前9時20分～9時50分受付

※3歳児健康診査・乳児後期健康相談の対象者には個別に通知いたします。

園子育て支援課 ☎88-6636

場所 = いずれも「はぐくむセンター(保健センター)」

☎=要予約

今月の元気はつらつ!若返り塾

場 所	日	時間
総合文化センター (おやしエクササイズ)	9日☎・30日☎	午前
高尾公民館	9日☎	午後
郷之口会館	28日☎	午後
銘城台自治会館	16日☎	午前
荒木(やすらぎ荘)	16日☎	午後
南区公民館	23日☎	午後
岩山会館	7日☎	午前
緑苑坂自治会館	23日☎	午前
禅定寺会館	1日☎	午後
立川公民館	30日☎	午後
湯屋谷会館	21日☎	午前
奥山田会館	14日☎	午後

※午前=午前10時～正午、午後=午後2時～4時



地震による被害家屋

木造住宅耐震化等の補助金

1) 国土総務課 (☎88・663)

川愛佳 (維中1年)

帆 (田小6年)・大塚遥太

・木村司 (宇小6年)・古

田琉椰 (維中1年)

▼佳作 濱口桃華・山岡夏

早那 (田小6年)・榎木千優・

西野杏莉 (宇小6年)・森

田琉椰 (維中1年)

審査結果 (敬称略)

▼優秀賞 奥谷莉子・木村

早那 (田小6年)・榎木千優・

西野杏莉 (宇小6年)・森

田琉椰 (維中1年)

審査結果 (敬称略)

令和8年度明るい選挙ボ

スター 町選挙管理委員

会表彰審査結果

お知らせ

暮らしの
INFORMATION
情報

問一問合せ先 問二申込先

10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

耐震診断士の派遣

対象 次のすべてに該当する木造住宅

①日本建築防災協会発行

リーフレット「誰でもでき

るわが家の耐震診断」の結果、

評点が9点以下

②床面積の2分の1以上が

住宅の用に供されている木

造住宅。ただし、特殊な工

法、型式適合認定によるプ

レハブ工法等の住宅は対象

外。

助成額 昭和56年5月31日以前に

着工し、現に完成している

木造住宅Ⅱ5万2千円 (自

己負担額3千円)

●右記以外の木造住宅Ⅱ1

万3千円 (自己負担額4万

耐震改修

耐震改修は、内容により

3種類の助成があります。

①耐震改修

助成額 昭和56年5月31日以前に

着工された住宅

・耐震の評点が1.0以上

・耐震の評点が0.7以上

1.0未満になる改修Ⅱ耐

震改修に要した費用の5分

の4 (上限100万円)



耐震補強例

●昭和56年6月1日以降に

着工された住宅Ⅱ耐震改修

に要した費用の12分の1

(上限10万円)

②簡易耐震改修

助成額 簡易耐震改修に要

した費用の5分の4 (上限

40万円)

③耐震シエルト設置

助成額 耐震シエルト設置

に要した費用の4分の3

(上限30万円)

※各事業の詳細は、お問い

合わせください。

●園建設課 (☎88・6

637)



ガイドライン

住宅での子どもの転落事故を防ぐために

住宅の窓やベランダから

子どもが転落する事故が発

生しており、国では事故を

防ぐために様々な対策を

行っています。

●子育てに配慮した住宅と

居住環境に関するガイドラ

イン

子どもにとって安全な住

宅選びや設計の参考として

ご活用ください。

●「子どもの転落事故」防

こちら消防分署

園宇治田原分署 ☎88-5500

甲種防火管理者資格取得講習会

対象

消防法第8条の規定による甲種防火管理者の資格

を取得しようとする人で、八幡市・京田辺市・井

手町・宇治田原町に居住・勤務する方。

定員

40人

受講日

11月18日(水)・19日(木)

受講料

京田辺市コミュニティホール

申込期間

無料 (別途テキスト代が必要となります)

申込方法

※テキスト代4,100円。講習当日、講習会場で販売。

10月26日(月)~30日(金)午前9~午後4時

受講申込書に必要事項を記入し、写真(6ヶ月以

内に撮影した無帽の正面上半身、無背景、縦4cm

×横3cm)を貼付して居住地又は勤務地を管轄す

る消防本部等に提出し、受講票の交付を受けてく

ださい。

京田辺市のHPから受講申込書をダウンロード可。

主催

京田辺市消防本部・八幡市消防本部

園・京田辺市消防署宇治田原分署

☎88-5500

京田辺市消防本部予防課

☎63-7826

止のためのチェックリスト

お家の中に子どもにとつ

て危険な場所がないか、

チェックリストで点検でき

ますのでぜひご活用くださ

い。

9月1日~11月30日は

「秋の農作業安全運動期

間」です。農繁期となり、

農業機械を使う機会が多く

なりますので、秋の重点呼

びかけ事項に注意して、農

作業事故ゼロを目指しま



チェックリスト

●子育て支援型共同住宅推進事業

国土交通省は、子育てし

やすい共同住宅の新築・改

修などを支援しています。

窓のカギやベランダの手す

りなど、子どもの事故防止

設備の設置にご活用くださ

い。

園建設課 (☎88・663

7)



国土交通省 HP

徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策

園農林環境課 (☎88・6

638)

モニター通信

広報モニター
木下利恵さん(湯屋谷)

今年も！湯屋谷の盆踊り

8月22日(土)に、湯

屋谷の地蔵盆があ

りました。

私にとって、1年の中

で一番好きな日です。

その中でも、最も好き

なのが盆踊り。地域の方

も「あんだ、好きやなあ」

と、感心されるやら、呆

れるやら。この盆踊りが

大好きだというのが、湯

屋谷に引越して来た理由

のひとつでもあります。

引越してくる前の年か

ら参加し始め、それ以来

開催された時には1度も欠

かさずに参加しています。

初参加から8年。当時は

お元氣だった年かとのみ

なさん、夜出かけるのがし

んどう方や、見に来られて

いても、踊りの輪には入れ

ない方もちらほらいたし

るようになってきました。

そこで、去年が一昨年

くらいから、最初に踊り出

す役を、勝手に買って出て

います。初めから輪が作

るわけではないので、1番

始めるのは勇気がいります

よね。私は元来、目立ち



がりで、はりきってしゃ

やり出しているわけです。

踊りの始まりの方は、ボ

ランテアの学生さんや、子

どもたちなどで、おっかな

びつくりな感じの踊りの輪

ですが、みなさん輪に出

たり入ったり、思い思いに

踊っています。最近では、

外の踊りが好きな方が、

いろいろ調べて踊りに来て

くださったりしているよう

で、踊り好き同士、何か通

じりがあるのか、よく声を

掛けられます。

後半は、露店などのお手

伝いをされていた、地域

のみなさん輪に合流される

ので、とても層が厚くな

って、一気に踊りの輪のボ

ルテージが上がります。

そして終盤、老若男女

入り乱れ、暑さと疲れと(お

酒と)で、みんな無心にな

って踊ります。それはもう

言わばトランス状態。時

宗の開祖、一遍上人による

「踊念仏」がその起源であ

るとも言われる盆踊りは、

もとはこのような無心と

祈りの踊りだったのかな

と、毎年、古の人々の暮

らしに想いを馳せていま

おめでとうございす

第48回少年の主張京都府大会

佳作 中山優那さん

(維孝館中学校3年)

佳作 古川陽葵さん

(維孝館中学校3年)

農業者の皆さんへ 将来の自分のために農業 者年金に入りませんか

対象 農業に従事し、次の条件を満たす方

① 20歳以上60歳未満の方で
国民年金の1号被保険者の
方。または60歳以上65歳未
満で国民年金に任意加入し
ている方

② 年間60日以上農業に従事
している方

※農地を持っていない農業
者や配偶者、後継者など
の家族従事者も加入可能
です。



農業者年金のメリット

① 積立方式で安心

将来受け取る年金は、自
分で積み立てる方式で確定
拠出型であるため、加入者
や受給者の数に左右され
ず、安定した年金の財政運
営ができます。

② 一生にわたる終身年金

仮に加入者や受給者が80
歳前に亡くなれた場合
は、80歳までに受け取ると
仮定した金額を死亡一時金
として遺族が受け取れます。

③ 自由に保険料を設定可能
毎月の保険料は2万円か

ら6万7千円まで自由に選
択でき、随時変更が可能で
す。

④ 節税効果大きい

保険料は全額が社会保険
料控除の対象となり、運用
益も非課税です。さらに将
来受け取る年金も公的年金
等控除の対象となります。

⑤ 意欲ある担い手に保険料 助成制度があります

認定農業者等一定の要件
を備えた意欲ある担い手に
対し、基本となる保険料(月
額2万円)のうち国から保
険料の助成があります。

● 農業委員会(☎88
・6638)

令和8年度敬老祝寿会

今年度の敬老祝寿会も、
昨年度同様、対象の方を満
百歳、白寿、米寿、喜寿の
節目を迎える方に限定した
形で行う予定です。

対象者には、開催案内を
送付していますので、ご理
解をお願いします。

● 福祉課(☎88・66
35)

催し

環境ふれあいフェスタ

フリーマーケット、ごみ
収集車の乗車・走行体験、
ごみ焼却施設の見学など、
来場された皆さんに楽しい
企画を準備しています。

「悪魔のおにぎり」の開
発者で、元南極料理人の渡
貫淳子氏による子どもから
大人まで楽しみながら学べ
る講演会も行います。

秋の一日をぜひ環境ふれ
あいフェスタでお楽しみく
ださい。詳しくは、10月1
日発行の「エコネット城南」
または城南衛生管理組合H
Pまで。

日時 10月18日(日)
午前10時～午後3時
場所 クリーンパーク折居
環境ふれあいひろば(宇
治市宇治折居18番地)

● 城南衛生管理組合広報協
働課(☎34・3355)

家族介護者リフレッシュ
事業「近場でリフレッ
シュ！平等院散策＆『宇
治創こころ』でランチ」

自宅で家族の介護をして
いる方々は、日頃から心身
ともにストレスを抱えてし
まいがちです。同じ状況で
頑張る仲間(家族介護者)
とつながり、わずかな時間
でも「介護」から離れ、心
身のリフレッシュを図って
みませんか。多数のご参加
をお待ちしています。

対象 要介護1～5の認定
を受けている方を自宅で介
護している方

日時 11月10日(火) 午前
10時30分～午後3時
30分 帰着予定
内容 宇治平等院を拝観
し、宇治創こころで昼食を
とった後、宇治橋商店街を
自由散策

定員 15人
参加費 1人1,000円
(当日徴収)

申込期限 10月28日(水)
※定員になり次第締切

申込方法 電話または二次
元コードから申し込み

アイヘルス 一日の健康診査一

早期発見と適切な治療であなたの目の健康を守るため、綴
喜ライオンズクラブ主催で検診が行われます。

日時	11月2日(月) 午後2時45分～
場所	京都田辺中央病院 健康管理センター
対象	町内在住で50歳以上の方
料金	無料
定員	先着25人(完全事前予約制)
申込方法	電話による事前受付
申込日時	10月26日(月) 午前10時30分～午後4時30分 (正午～午後1時30分除く)
備考	当日は次のとおり無料送迎バスを運行します。お 近くの乗車場所をご利用ください。 奥山田バス停13:30、JA宇治田原町支店13: 45、宇治田原町役場13:50、郷之口バス停 13:55

● 綴喜ライオンズクラブ ☎0774-62-0177

講座・講演

やさしい日本語講座

本町には、現在5000人
を超える外国人の方々が暮
らしておられます。異なる
文化・習慣を相互理解する
には、コミュニケーション
が大切です。

今回開催する「やさしい
日本語講座」は、難しい言
葉を、日本語を母語としな
い人などに配慮した、わか
りやすい日本語に言い換え
ることを学ぶ講座です。言
葉を少しやさしくするだけ

日時 11月15日(日) 午
後1時30分～4時30分
場所 総合文化センター研
修室1
講師 京都にほんごRings
対象 多文化共生に関心の
ある方

定員 先着30人
費用 無料

申込期限 10月23日(金)
申込方法 申込フォーム
(京都府・市町村共同電子
申請サービス)または①住

宅から申し込み

社協通信

バザー物品の提供にご協力ください

みんなでつくるやさしいまち

今年も商工祭の会場にて開催。

日時 11月1日(日) 午前10時～午後3時

場所 総合文化センター
周辺

物品をご提供いただける
方は、期日までに社協へご
持参ください。

提供期日 10月20日(火)

バザーの収益金は、町社
会福祉協議会が取り組む「地域福祉の推進」「ボランティ
ア活動の振興」に活用させていただきます。

● (福) 社会福祉協議会 ☎88・3294/FAX88・4094

ご提供いただきたい物
日用品、台所用品、繊維製品
(いずれも新品)
食料品(賞味期限内)
農作物(日持ちする穀類など)

食改の窓 No.307

冬瓜の煮物

冬瓜の代用として太めのきゅうりを使っても美味しいです。
サバ缶やツナ缶、ベーコンやウインナーなどいろいろアレン
ジできますよ！(写真は彩りにインゲンを入れています)

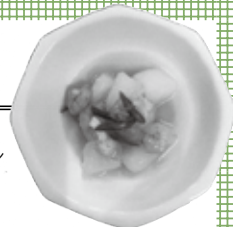
材料 (2人分)

冬瓜……………250g
むきえび……………60g
ホタテ缶(小)……………40g
土生姜……………少々
出汁……………200ml
片栗粉……………小さじ1
しょうゆ……………大さじ1
みりん……………大さじ1
料理酒……………大さじ1

作り方

- ① 昆布と鰹で出汁をとる。
- ② 冬瓜は芯の種とわたをスプーンで取り除き、皮を厚
めにむく。
- ③ 一口大に切り、面取りをして水から茹で、ざるに上げ
る。
- ④ 出汁を沸騰させ茹でた冬瓜を入れ、10分程煮る。
- ⑤ エビとホタテ缶(汁ごと)を加えてサッと煮る。
- ⑥ 片栗粉を同量の水で溶いて混ぜ入れ、すりおろした
生姜汁を加え、火を止める。
- ⑦ 器に汁ごと盛りつける。

栄養価(1人分) エネルギー 125kcal たんぱく質 11.3g 脂質 0.4g 塩分 1.4g



合同行政・人権相談所開設
全国一斉の「行政相談月

相談

● 図・団 (一財) 京都府市町村職員厚生会 (☎075・411・0081)



日時 11月8日 (日) 午前10時30分～正午
場所 リーガロイヤルホテル京都
定員 700人 (申込多数の場合抽選)
参加費 無料
申込期限 10月12日 (月) 祝
申込方法 二次元コードから申し込み



増田明美さん講演会
「自分という人生の長距離ランナー」

● 図・団 総務課 (☎88・6634)



所②氏名③年齢④電話番号を明記のうえFAX (88・3231)

手話コーナー vol.4

手話コーナー第4回目は「こんにちは」です。顔の前の二本の指は「正午の時計の針」、両手の指を曲げる動きは「向かい合った人があいさつする様子」を表しています。外を歩くのが楽しい頃です。お出かけ先で近所の方や友達を見かけたときは手話を交えて「こんにちは」と声をかけてみてはいかがでしょうか。

- ①人差指と中指を鼻の前でたてる
②両手の人差指を立てたところから90度曲げる



※手話は地域や世代によって様々な表現があります。本コーナーでは、初めての方でも日常で親しみやすい表現を中心にご紹介します。

● 図・団 福祉課 ☎88・6635

田辺警察署通信

● 図・団 田辺警察署 ☎63・0110

特殊詐欺被害にご注意を

令和8年7月末現在で、田辺署管内では、11件（前年同期比+8件）被害総額約5,315万円（前年同期比+4,965万円）の特殊詐欺被害が発生しており、犯人の約9割が国際電話で詐欺の連絡を行っています。

国際電話の利用停止手続きで被害を防止することができますので、固定電話の場合は、警察署や交番で申し込み、携帯電話の場合は、警察庁が推奨する次の特殊詐欺対策アプリをインストールしてください。

（二次元コードからはアプリが2つ表示されますが、お好きな方を選んでください。）



図書館だより

● 図・団 町立図書館 ☎88・5852

司書が薦めるお薦め本



「ぼくはいつたいたいねんやねん」
岡田 よしたか/作



「JTB時刻表100年誌」



同制作委員会/編

秋は旅にあふらしい季節です。この本には、電車の旅に欠かせない時刻表の魅力がいっぱい詰まっています。

時刻表は通常、発車時刻を調べるのに使いますが、使い方は他にもたくさん。旅行ガイドと架空旅行に出かけたり、トラベラーミステリーのアリバイを見破ったり、様々な楽しみ方ができます。皆さんも時刻表で、いろいろな旅を楽しんでみてはいかがでしょうか。

今月の予定

休館日 6:13-20:27日(火曜) 29日(木・館内整理日)
おはなし会 10日(土) 11:00~24日(土) 11:00~
ボードゲームデー 10日(土) 14:00~24日(土) 14:00~
「絵本のじかん」交流会 29日(木) 10:30~

読み聞かせボランティア講座

子どもたちに絵本の楽しさを伝えてみませんか。現在子どもと絵本をつなぐ活動をされている方も、ご興味のある方も、多くのご参加をお待ちしています。

日時 11月16日 (月) 午後1時30分～3時
場所 総合文化センター研修室1
内容 読み聞かせの実践を通して読み聞かせの大切さや基本を学びます。
講師 花田 睦子氏
「えほん館」代表、嵯峨美術大学非常勤講師 等
定員 先着40人
その他 定員になり次第締切

募集

自衛官募集

各種目の自衛官を募集します。

募集種目

● 高等工科学学校生徒
○ 推薦の場合
対象 男子で中卒（見込含）
17歳未満の成績優秀かつ生

行政書士による無料相談会

毎月、行政書士による無料相談会を行っています。相続・遺言など困りごとがある方は、この機会にぜひご利用ください。

日時 10月8日 (木) 午後1時～4時 (予約優先)
場所 役場
相談時間 1人30分
● 図・団 京都府行政書士会第7支部 (☎070・8537・1305)

● 図・団 税住民課 (☎88・6634)

● 図・団 税住民課 (☎88・6634)

● 図・団 税住民課 (☎88・6634)

● 図・団 税住民課 (☎88・6634)

● 図・団 税住民課 (☎88・6634)

● 図・団 税住民課 (☎88・6634)

● 図・団 税住民課 (☎88・6634)

● 図・団 税住民課 (☎88・6634)

● 図・団 税住民課 (☎88・6634)

● 図・団 税住民課 (☎88・6634)

● 図・団 税住民課 (☎88・6634)

● 図・団 税住民課 (☎88・6634)

● 図・団 税住民課 (☎88・6634)

三社の神輿が一堂に 田原祭（三社祭）

- 神幸祭 10月8日(木)
出発 (一ノ宮) 午前11時10分
(大ノ宮) 午後1時
(三ノ宮) 午後1時20分
- 前夜祭 10月10日(土)
午後5時～8時 御旅所
ヨーヨー・綿菓子・当てもの・
焼きそばなど
- 還幸祭 10月11日(日)
御旅所 (神事) 午前10時30分
(駆馬) 午前11時10分頃
(出発) 午後0時30分



平安時代に起源を持つ伝統の田原祭。神輿（みこし）が各神社から御旅所へ巡行する神幸祭（しんこうさい）。御旅所から各所に戻る還幸祭（かんこうさい）。還幸祭の前日には今年も前夜祭が行われ、御旅所に模擬店（夜店）が並びます。

秋の空 文化を未来に 語り継ぐ 町制施行70周年・総合文化センター開館30周年記念 生涯学習フェスティバル文化祭2026



図総合文化センター ☎ 88 - 5851

- 10月18日(日)～25日(日)
場所 総合文化センター
内容 ▼カラオケ自慢 (18日)
▼コンサート (24日)
▼舞台発表 (25日)
▼体験コーナー (24・25日)
▼お茶席 (24・25日)
人権・男女共同参画啓発パネル展や作品展示もあります。詳細はチラシをご覧ください。

地域の魅力を再発見 第38回うじたわら・ハートのまちの商工祭

地域の魅力と活気を感じられる「商工祭」が今年も開催されます。特産品の販売や飲食ブース、ステージイベントなど、多彩な催しが行われます。

子どもから大人まで楽しめる内容が盛りだくさんですので、ぜひご来場ください。

【商工祭にまちかど町長室・耐震体感ブース開設】

勝谷町長と今後のまちづくりについて対話しませんか。

また、模型を揺らして体感できる耐震体感ブースも開設します。予約不要ですので、当日会場でお待ちしています。



11月1日(日) 商工祭 午前10時～
まちかど町長室: 午前11時～12時30分
耐震体感ブース: 午前10時～午後3時
会場 総合文化センター駐車場

図総務課 ☎ 88 - 6631
建設課 ☎ 88 - 6637

宇治田原の 秋を 満喫できる イベントへ行こう

2026 UJITAWARA AUTUMN EVENT GUIDE



家族で特別な映画体験を うじたわら星空映画館

10月3日(土) 午後6時30分～

場所 宇治田原中央公園

秋の星空の下、大きなスクリーンで映画鑑賞。日中はマルシェや移動式遊具も登場します。

お子さまから大人まで、ぜひお楽しみください。

図まち未来創造課 ☎ 88 - 6616



体を動かしリフレッシュ 町民スポーツフェスティバル



10月4日(日)

午前9時30分～正午

場所 住民体育館

対象 町内在住・在勤者

内容 ▼アスリート能力測定
▼空手道体験 ▼モルック
▼コーンホール
▼スポーツスタッキング

図スポーツ協会 ☎ 88 - 4567

目指せ自己ベスト! 記録にチャレンジ 第11回シルバードリニック

10月15日(木) 午後1時受付開始

場所 住民グラウンド（雨天時は住民体育館。体育館シューズ必要）

対象 60歳以上の町内在住・在勤者

内容 ▼記録認定種目＝①輪投げ

②ソフトボール投げ

③ゲートインゴール（ゲートボール）

④スリー・ホールインワン（グラウンド・ゴルフ）

※雨天時は①③④のみ

表彰 記録認定種目の1位から3位までにメダル授与

申込締切 10月7日（水）

図・図住民体育館 ☎ 88 - 4567

くとうてん

人もまちも、長く関わるほど、楽しいことばかりではありません。それでも大切にしたいと思えるのは、これまで支えられ、たくさんものをもらってきたからなのかもしれません。今の私たちがいるのは、誰かがこのまちを想い、守り、未来へつないでくれたから。だから今度は、私たちができることで恩返しをする番です。大切なものを守るための一歩は、きっと未来を変えていく。あなたが大切にしたいものは何ですか。その大切なものを未来へつなぐために、今日からできることを始めてみませんか。

わが家のアイドル。



ただか のあさん (3歳)

9月で3歳! Happy birthday!!! 産まれてきてくれてありがとう!

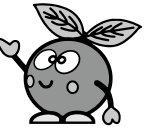


しゅうたろう
田中 修太郎ちゃん (8歳)
ひろゆき
洋行ちゃん (4歳)

いつも兄弟仲良く元気!

投稿募集▶元気のヒケツ (80歳以上) 写真と「氏名 (ふりがな)・「年齢」・「元気の秘訣 (50文字以内)・「電話番号」▶わが家のアイドル (乳幼児) 写真と子どもの「氏名 (ふりがな)・「年齢 (〇歳〇か月)・「メッセージ (25文字以内)」▶うじたわら LIKE なひととき 町内の LIKE な写真と「氏名 (ふりがな)・「一言コメント」をそれぞれお送りください。 ■送付先 まち未来創造課広報 ☎88-6616 または右 QR から





日	月	火	水	木	金	土
☒=総合文化センター ☒=図書館 ☒=住民体育館 ☒=要予約 水道メーター検針(1~15日) 荒木(大地・平山・立川のみ)、 岩山(法泉寺を除く)、立川、 禪定寺、湯屋谷、工業団地、 奥山田、緑苑坂	●今月の納税・納付● ○町・府民税 3期分 ○後期高齢者医療保険料 4期分 ○国民年金保険料 9月分 ○国民健康保険税 5期分 ○介護保険料 5期分 ○保育料 10月分 ○上・下水道料金 10月分	やすらぎ荘のお風呂 毎週水・金曜日(祝日除く) ☒午前9:30~正午 ☒午後1:30~4:00 ☒午前9:30~正午 ☒午後1:30~4:00	輝齢者しゃんしゃん教室 はぐくむセンター 午前10:00~正午			地域子育て支援センター開放日 はぐくむセンター 午前9:00~16:30 うじたわら星空映画館 宇治田原中央公園 午後6:30~
町民スポーツフェスティバル 住民体育館 午前9:30~正午	合同行政・人権相談 役場 午後1:30~4:30		子育て家庭応援事業 ☒ はぐくむセンター 午後1:30~3:00	輝齢者しゃんしゃん教室 役場 午前10:00~正午 行政書士相談 役場 午後1:00~4:00 ☒070-8537-1305 おでかけ広場 ☒ 田原見学 午後1:00~2:30	栄養相談 はぐくむセンター ①午前10:00~11:00/ ②午後1:30~2:30/ ③午後3:00~4:00 あそびの広場 ☒ はぐくむセンター 午前10:30~11:30	おはなし会 総合文化センター 午前11:00~11:30 ボードゲーム・デー 総合文化センター 午後2:00~4:00
インターバルウォーキング 住民体育館 午前10:00~正午		消費生活相談 役場 午前10:00~/午後1:00~	子育て家庭応援事業 ☒ はぐくむセンター 午後1:30~3:00	筋活教室 役場 午前10:00~正午 子育て相談 ☒ はぐくむセンター 午後2:00~4:00	子育て家庭応援事業 ☒ 役場 午前10:30~正午 3歳児健康診査 はぐくむセンター 午後0:50~1:30受付	おはなし会 総合文化センター 午前11:00~11:30 生涯学習フェスティバル(コンサート) 総合文化センター 午後1:00~ ボードゲーム・デー 総合文化センター 午後2:00~4:00
生涯学習フェスティバル(カラオケ自慢) 総合文化センター 午後1:00~	おでかけ広場 ☒ 湯屋谷会館散策 午前10:30~11:30	栄養相談 はぐくむセンター ①午前10:00~11:00/ ②午後1:30~2:30/ ③午後3:00~4:00 あそびの広場 ☒ はぐくむセンター 午前10:45~11:15	授乳育児相談 ☒ はぐくむセンター 午前9:30~11:30 子育て家庭応援事業 ☒ はぐくむセンター 午前10:30~正午 弁護士無料法律相談 役場 午後1:30~4:00	輝齢者しゃんしゃん教室 役場 午前10:00~正午	乳児後期健康相談 はぐくむセンター 午前9:20~9:50受付	おはなし会 総合文化センター 午前11:00~11:30 生涯学習フェスティバル(コンサート) 総合文化センター 午後1:00~ ボードゲーム・デー 総合文化センター 午後2:00~4:00
生涯学習フェスティバル(舞台発表) 総合文化センター 午後1:00~	ファミサポ学習会 ☒ はぐくむセンター 午前10:30~11:30		子育て家庭応援事業 ☒ はぐくむセンター 午前10:30~正午 権利擁護相談 ☒ やすらぎ荘 午後1:30~4:00	輝齢者しゃんしゃん教室 はぐくむセンター 午前10:00~正午 「絵本のじかん」交流会 総合文化センター 午前10:30~11:30	おでかけ広場 ☒ 奥山田会館散策 午前10:30~11:30	あそびの広場 ☒ 住民体育館 午前10:00~11:30

ごみ



ごみの分別で迷ったらごみの
分け方チラシが二次元コード
からHPで検索

問農林環境課 ☎88-6639

し尿

くみもれのときは、収集口から確認して城南衛生管理組合
(☎075-631-5171)へ、臨時収集は城南環境事業協同
組合(☎23-5963)までご連絡ください。

収集地域	燃やすごみ	燃やさないごみ	大型ごみ ※事前予約制	缶・ペット ボトル	飲料用 ガラスびん	紙バック	プラスチック 資源	収 集 地 域	収 集 日
A 地域	岩山・禪定寺 立川・湯屋谷 荒木・奥山田	毎週 月・木曜日	毎週 火曜日	13日・27日 予約は 7日・21日まで	7日・21日	14日・28日	14日	毎週 金曜日	
B 地域	高尾・郷之口 賛田・銘城台 南・緑苑坂	毎週 火・金曜日	毎週 月曜日	12日・26日 予約は 7日・21日まで	14日・28日	7日・21日	7日	毎週 木曜日	
								全 域	10/21
								郷之口・賛田・荒木	10/19
								南	10/19
								旧府道(南栗所以南の府道含む)以東(孩子を除く)	10/20
								旧府道(南栗所以南の府道含む)以西(並木・薬師前・東道祖神を除く)	10/21
								釜井谷・辻堂・森本・墓尾・口筒井谷・畠田・長山・山下・僧都谷	10/14・11/5
								谷山口・谷出・法泉寺・富之門・辻出・西開土・沼尻・中出・城尾	10/15・11/6
								禅定寺	10/13・11/4
								奥田	10/14・11/5
								立川	10/15・11/6
								大導寺川以北(右岸)	10/16・11/9
								大導寺川以南(左岸)	10/9・11/2
								湯屋谷	10/8・10/30
								奥山田	10/8・10/30

防災用長距離スピーカーの放送が
聞き取れないときは、電話で内容
確認ができます。

0774-88-3100
※通話料がかかります。

役 場 総務課 88-6631 企画財政課 88-6632 税住民課 88-6633 福祉課 88-6635 地域包括支援センター 88-3719 健康医療課 88-6610
子育て支援課 88-6636 地域子育て支援センター 88-6622 こども家庭センター 88-6651 FAX 88-6646 建設課 88-6637
まち未来創造課 88-6616 農林環境課 88-6638 上下水道課 88-3337 会計課 88-6640 学校教育課 88-6612 FAX 88-3780
社会教育課 88-6613 FAX 88-3780 議会事務局 88-6641 FAX 88-6617 役場 代表 88-2250 FAX 88-3231

出先など 町立保育所 88-6611 FAX 88-3104 宇治田原消防分署 88-5500 総合文化センター 88-5851 FAX 88-5333
町立図書館 88-5852 ※住民体育館 88-4567 FAX 88-4222 学校給食共同調理場 88-2255 FAX 88-3699
やすらぎ荘 88-2394 FAX 88-4094 ※維新館中学校 88-2106 ※田原小学校 88-2149 ※宇治田原小学校 88-2214
※奥山田ふれあい交流館 88-5055 田原児童育成施設 99-7185 宇治田原児童育成施設 99-7188 ふれあい福祉センター 88-9160

※は指定避難所